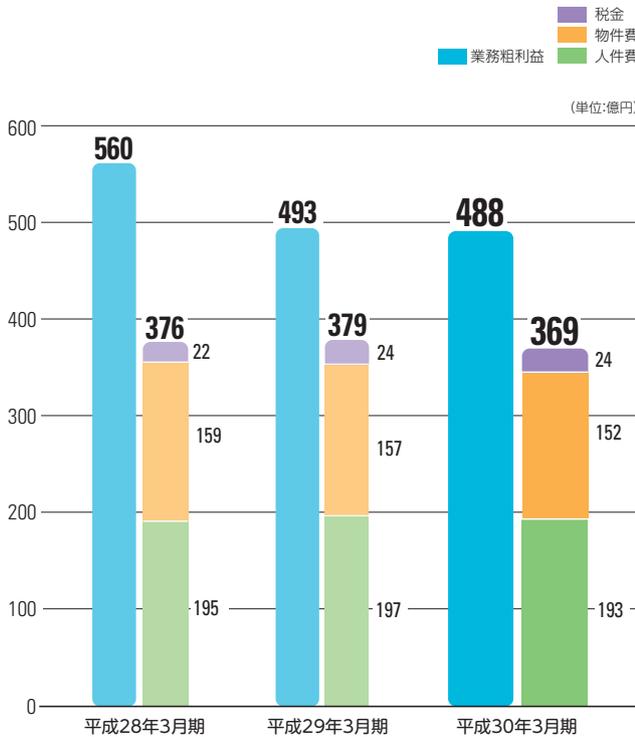


平成30年3月期 業績ハイライト

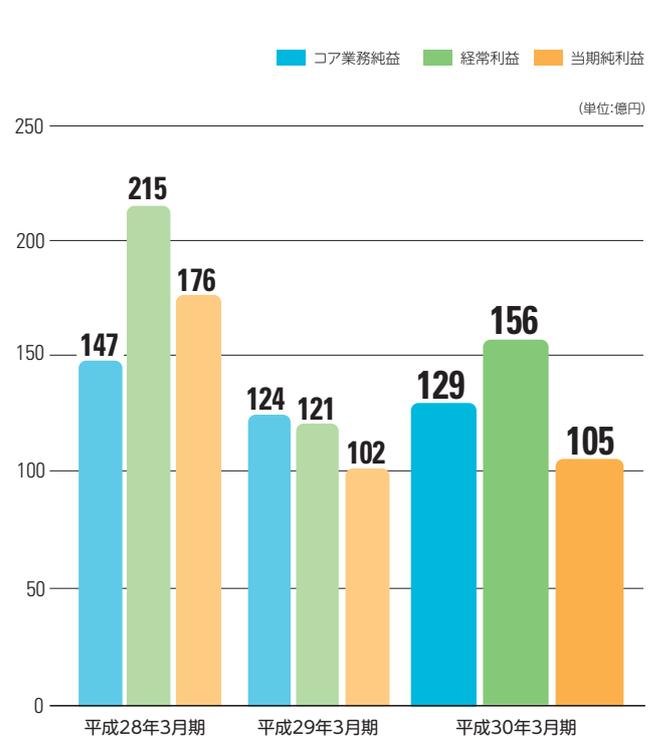
損益の状況 紀陽銀行単体

紀陽銀行単体ベースの業務粗利益は、貸出金利回りの低下などによる資金利益の減少などから、前期比5億円減少の488億円となりました。経費につきましては、徹底した経費削減への取り組みなどにより、前期比9億円減少の369億円となりました。これらの結果、コア業務純益は129億円、経常利益は156億円、当期純利益は105億円となりました。与信コスト総額につきましては、前期比4億円減少の16億円となりました。

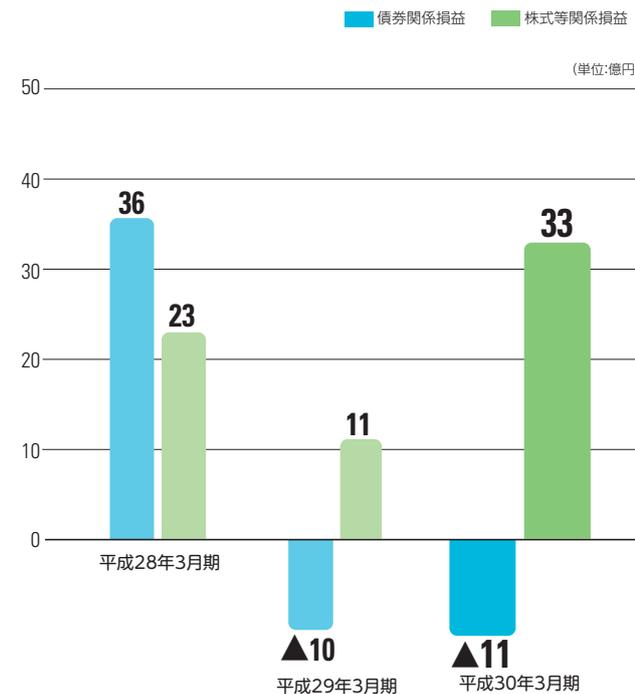
● 業務粗利益・経費



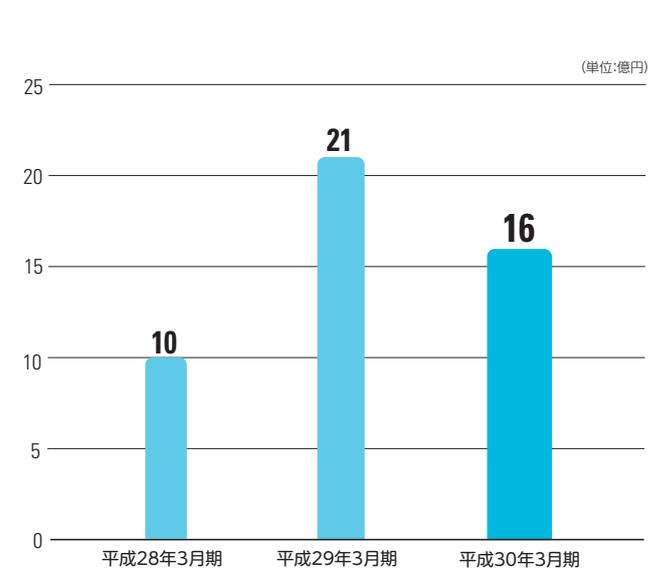
● コア業務純益・経常利益・当期純利益



● 債券関係損益・株式等関係損益



● 与信コスト総額

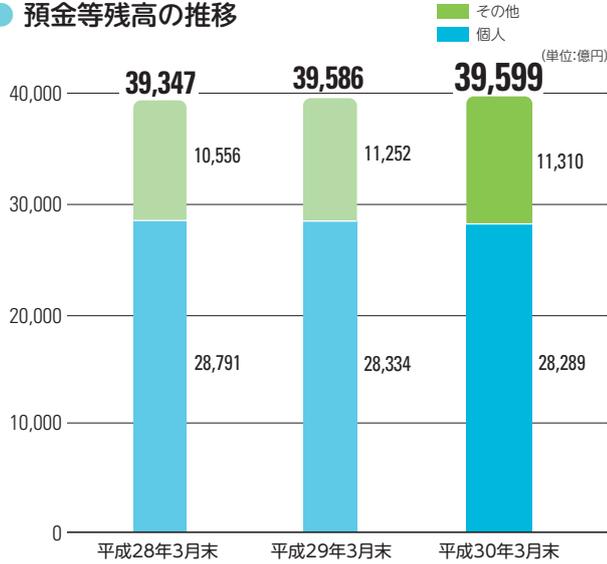


預金等、預かり資産、貸出金、有価証券の状況 紀陽銀行単体

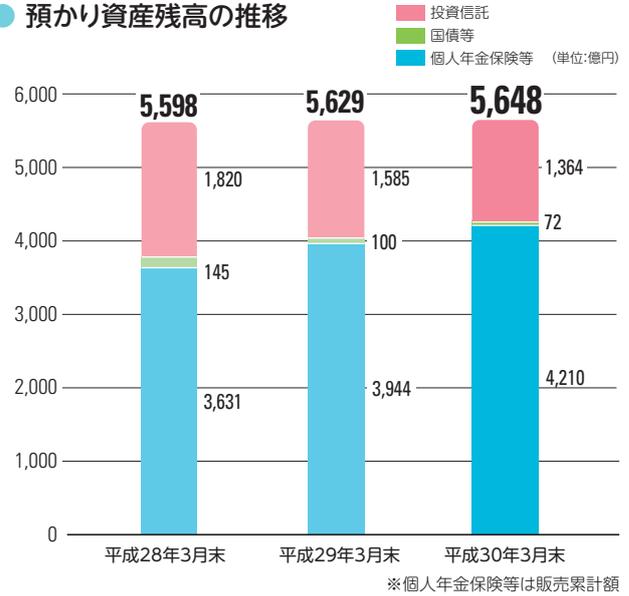
預金等残高は法人預金を中心に増加し、前期末比13億円増加の3兆9,599億円となりました。預かり資産については前期末比19億円増加の5,648億円となりました。貸出金残高は、中小企業向け貸出の増加などにより、前期末比557億円増加の2兆8,762億円となりました。

また、その他有価証券評価差額は、前期末比31億円増加し、392億円の評価益となりました。

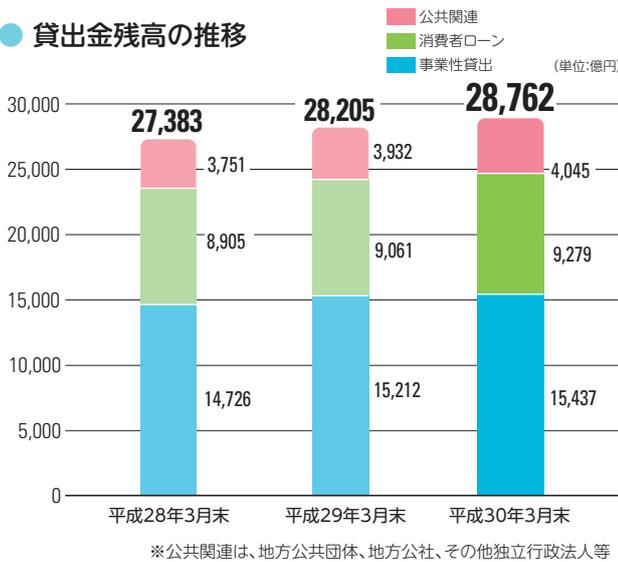
● 預金等残高の推移



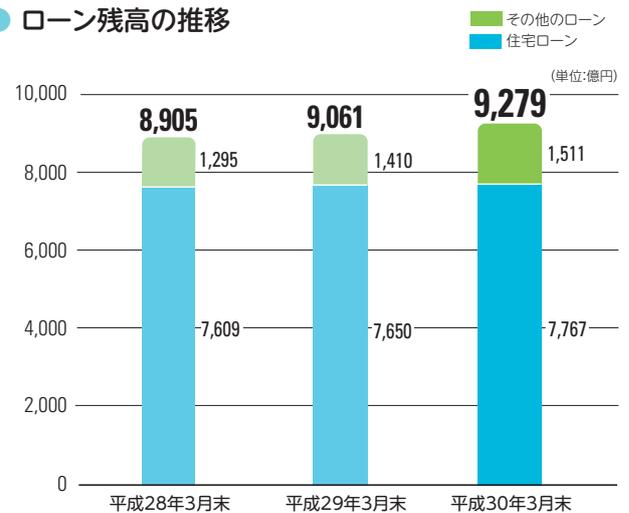
● 預かり資産残高の推移



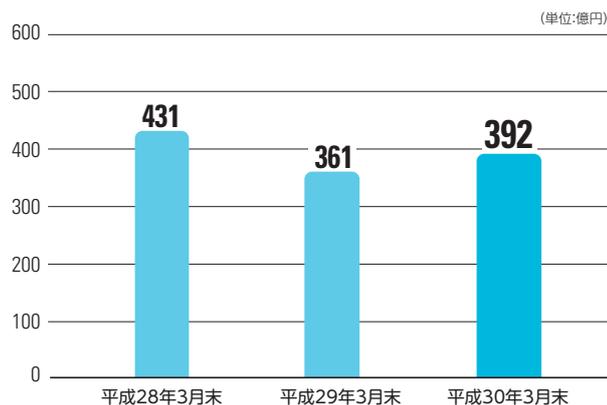
● 貸出金残高の推移



● ローン残高の推移



● その他有価証券評価差額

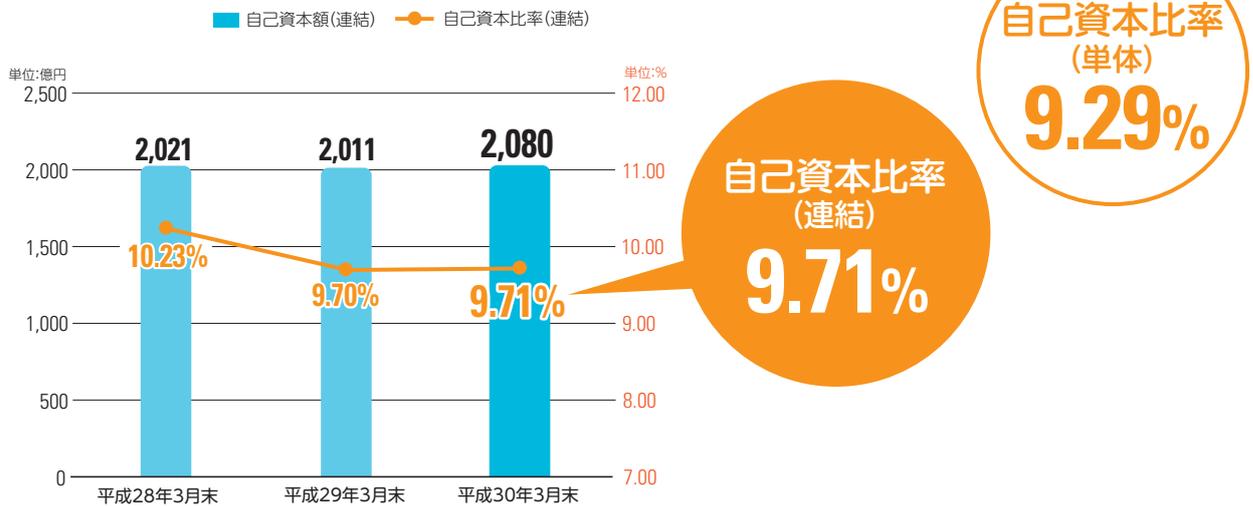


平成30年3月期 業績ハイライト

自己資本の状況

親会社株主に帰属する当期純利益を着実に計上したこと等により、自己資本額(連結)は前期比69億円増加の2,080億円となりました。また、貸出金の増加等により、リスク・アセット等の額が前期比697億円増加したことから、自己資本比率(連結)は9.71%となりました。

● 自己資本額・自己資本比率の状況(連結)



	平成28年3月末	平成29年3月末	平成30年3月末
自己資本額	2,021億円	2,011億円	2,080億円
リスク・アセット等	19,737億円	20,722億円	21,419億円
連結自己資本比率	10.23%	9.70%	9.71%

配当方針

地域金融機関としての公共性に鑑み、長期的に安定した経営基盤の確保や財務体質強化を目的とする適切な内部留保蓄積と、株主還元強化の両立を目指すこと、および収益力・資本効率等を示す指標を経営目標として掲げ、株式価値向上に努めることを基本方針としております。

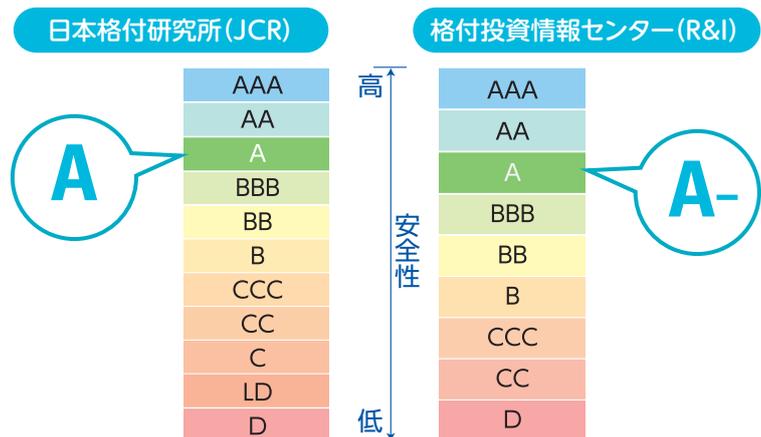
当期の配当につきましては、普通株式1株につき、年間35円をお支払いさせていただきました。

次期の配当につきましては、普通株式1株につき、平成30年3月期と同額となる35円を予定しております。

格付の取得

「格付」とは、第三者の格付機関が、銀行や企業などの「安全度」をランク付けしたものです。

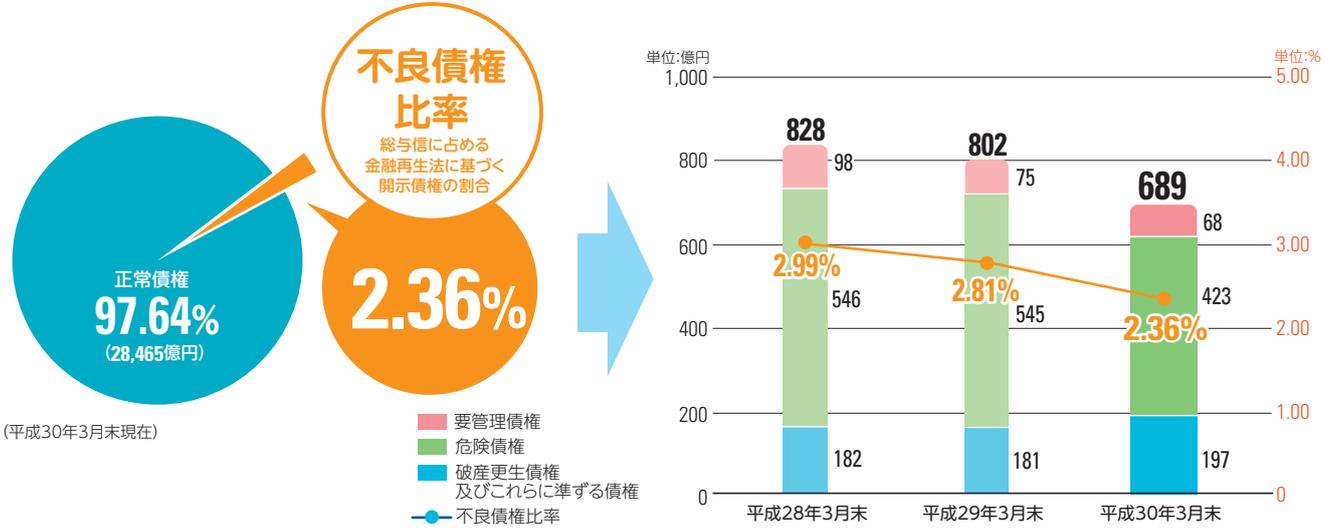
紀陽銀行では、株式会社日本格付研究所(JCR)と株式会社格付投資情報センター(R&I)から格付上位のAランクを取得しています。



不良債権(金融再生法開示債権) 紀陽銀行単体

不良債権残高は前期末比113億円減少し、689億円となりました。不良債権比率については、前期末比0.45%低下の2.36%となりました。

● 不良債権額(金融再生法に基づく開示債権)及び不良債権比率



用語解説

金融再生法に基づく開示債権

貸出金、支払承諾見返、外国為替、銀行保証付私募債、貸付有価証券、仮払金等が対象。なお、銀行保証付私募債については「金融商品に関する会計基準」の適用に伴い、貸借対照表計上額(時価)にて表示しております。

●要管理債権

3か月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権

●危険債権

債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権

●破産更生債権及びこれらに準ずる債権

破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権

不良債権(金融再生法開示債権)の保全状況 紀陽銀行単体

(平成30年3月末現在)

平成30年3月末の不良債権総額689億円のうち、81.3%は引当金や担保・保証により保全されております。

(単位:億円)

区分	与信残高	担保・保証等	引当額	未保全額	保全率
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	197	169	28	—	100.0%
危険債権	423	237	95	90	78.6%
要管理債権	68	21	8	38	43.4%
金融再生法開示債権合計	689	427	132	128	81.3%
正常債権	28,465				
総与信	29,154				

リスク管理債権の状況 紀陽銀行単体

(単位:億円)

リスク管理債権		平成28年3月末	平成29年3月末	平成30年3月末	平成29年3月末対比
		破綻先債権	22	20	21
延滞債権	701	702	597	▲ 105	
3か月以上延滞債権	0	—	—	—	
貸出条件緩和債権	98	75	68	▲ 7	
合計	823	799	687	▲ 112	

(単位:億円)

貸出金残高(末残)	27,383	28,205	28,762	557
-----------	--------	--------	--------	-----

(単位:%)

貸出金に占めるリスク管理債権の割合	3.00	2.83	2.39	▲ 0.44
-------------------	------	------	------	--------

※リスク管理債権：貸出金が対象

平成30年3月期 業績ハイライト

グループ営業概況

当行グループは、目指す銀行像「銀行をこえる銀行へ(お客さまの期待や地域の壁をこえ、銀行という枠をこえることを目指します。)」の基本方針のもと、お客さまの利便性向上に努めるとともに、より充実した金融商品、金融サービスの提供に注力し、業績の向上と経営体質の強化に取り組んでまいりました。

これらの取り組みの結果、預金等や貸出金は順調に増加しました。損益については、株式等関係が増加したことに加え、営業経費や与信コスト総額が減少したことなどから、連結経常利益は175億円、親会社株主に帰属する当期純利益は117億円となりました。

主要な経営指標 紀陽銀行連結

(単位)	平成26年3月期	平成27年3月期	平成28年3月期	平成29年3月期	平成30年3月期
連結経常収益	百万円 76,346	74,275	81,599	75,485	74,257
連結経常利益	百万円 14,897	15,255	21,479	13,562	17,561
親会社株主に帰属する当期純利益	百万円 10,487	11,270	17,023	11,028	11,722
連結包括利益	百万円 9,461	35,883	4,371	6,692	14,381
連結純資産額	百万円 182,905	215,269	214,851	217,978	229,292
連結総資産額	百万円 4,058,599	4,277,830	4,446,335	4,870,459	4,672,748
1株当たり純資産額	円 2,486.14	2,953.31	2,997.11	3,076.28	3,251.11
1株当たり当期純利益金額	円 150.23	156.55	239.62	157.77	168.82
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	円 —	—	239.57	157.70	168.70
連結自己資本比率(国内基準)	% 11.20	10.62	10.23	9.70	9.71

(注) 「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)等を適用し、平成28年3月期より、「連結当期純利益」を「親会社株主に帰属する当期純利益」としております。

主要な経営指標 紀陽銀行単体

(単位)	平成26年3月期	平成27年3月期	平成28年3月期	平成29年3月期	平成30年3月期
経常収益	百万円 68,381	66,134	73,358	67,389	66,087
経常利益	百万円 15,796	15,578	21,597	12,145	15,656
当期純利益	百万円 12,094	12,317	17,695	10,204	10,506
資本金	百万円 80,096	80,096	80,096	80,096	80,096
発行済株式総数	千株 73,399	73,399	73,399	70,300	70,300
純資産額	百万円 169,929	197,721	201,385	204,167	213,748
総資産額	百万円 4,050,317	4,261,339	4,436,277	4,861,291	4,661,861
預金残高	百万円 3,589,688	3,732,412	3,859,888	3,829,914	3,889,458
貸出金残高	百万円 2,607,943	2,668,105	2,738,363	2,820,552	2,876,258
有価証券残高	百万円 1,129,558	1,285,164	1,174,717	1,308,015	1,113,588
1株当たり純資産額	円 2,345.88	2,751.47	2,851.51	2,925.95	3,077.39
1株当たり配当額	円 30.00	35.00	35.00	35.00	35.00
単体自己資本比率(国内基準)	% 10.85	10.28	9.87	9.33	9.29
配当性向	% 17.31	20.45	14.05	23.97	23.12
従業員数	人 2,242	2,261	2,312	2,347	2,317